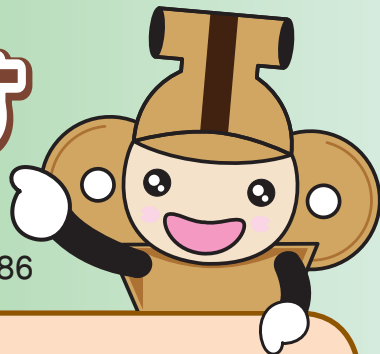


新指定文化財を紹介します

4月18日に、有形文化財1件と史跡2件の計3件が新しく本庄市指定文化財に指定されました。★文化財保護課 ☎251186



寺山廃寺の風鐸

有形文化財（考古資料）

児玉町河内寺山地区の道路工事中に出土したもので高さは21.7mです。風鐸とは、鐸形の釣鐘であり、仏堂の軒などに吊るし風を受けて音を発するものです。この風鐸は鑄鉄製で裾部には花弁状の挟り込みがあります。東日本で作られたものと考えられ、類例の少ない珍しいものです。寺山地区には平坦地があり、そこから古代の土師器・須恵器をはじめ平安時代に相当する瓦塔の破片が数多く採集されていることから、かつては地名のもとになった寺院がこの地に建てられていたものと思われる。おそらくこの風鐸は、この寺院の本堂に吊り上げられていたものでしょう。



万年寺つづじ山古墳（付出土品）

記念物（史跡）

旭・小島古墳群中に位置し、墳形は周堀を含む一辺が33・5mの方墳と推定されています。現状では墳丘が大きく削り取られていますが、市指定史跡である八幡山古墳に隣接し保存されており、5世紀初頭頃の方墳として珍しいものです。なお、この古墳からは刀身・有肩斧、直刃鎌等を滑石で模した石製模造品14点が検出されています。



▲古墳全景（万年寺3丁目）



▲出土品

長沖第32号墳

記念物（史跡）

長沖古墳群中に位置し、墳形は現状で全長32m、高さ3mの前方後円墳で、古墳群中でも中心的な古墳です。この古墳からは、円筒埴輪や朝顔形円筒埴輪等が出土しています。

なお、児玉南土地区画整理事業地内には、かつて数多くの古墳が存在していましたが、現在はこの古墳のほかには墳丘を残す古墳が少なく、「長沖古墳公園」として保存整備が計画されています。



▲古墳全景（児玉町長沖）

『本庄市の養蚕と製糸』が刊行されました



本庄市にとって養蚕と製糸は、大変重要な産業でした。競進社模範蚕室や旧本庄商業銀行煉瓦倉庫(旧ロイヤル洋菓子店)は、その面影を伝える大切な文化遺産です。また、「高窓の里」に代表される養蚕家屋のある風景は、かつて本庄市が我が国の産業を支えたことを示す重要な歴史的遺産です。本書は、本庄市の歴史を考える基礎資料となるように、本庄市郷土叢書として刊行しました。

体裁 本文44ページ(全ページオールカラー印刷)
頒布価格 1冊 500円
頒布場所 文化財保護課(役所4階)